

Chapter 6. 昇降機の入力

1. 昇降機入力シート

「様式6. (昇降機)『昇降機入力シート』」には、昇降機の仕様が記載されている昇降機設備図(仕様表、平面図)より、昇降機の積載量、速度、台数や速度制御方式等を入力する。

(1). 昇降機入力シートの様式

『昇降機入力シート』の様式を図 1-6-1 に示す。

様式6. (昇降機) 昇降機入力シート

① 主要な対象室				②	③	④	⑤	⑥	⑦
① 階 (転記)	① 室名 (転記)	① 建物用途 (転記)	① 室用途 (転記)	機器名称 (機器表の記号等)	台数 [台]	積載量 [kg]	速度 [m/min]	輸送能力係数 [-]	速度制御方式 (選択)
8F	8F事務室I-N	事務所等	事務室	常用EV3台	3	1150	120	1.6	VVVF(電力回生あり、ギアレス)
8F	8F事務室I-N	事務所等	事務室	非常用EV1台	1	1150	105	1.0	VVVF(電力回生なし、ギアレス)

図 1-6-1 様式6. (昇降機)『昇降機入力シート』の様式

(2). 昇降機入力シートの入力項目と入力方法

『昇降機入力シート』の入力項目と入力方法を次に示す。なお、各項目名の前にある丸数字は図 1-6-1「様式6. (昇降機)『昇降機入力シート』の様式」の最上部にある丸数字と対応している。

①：階・室名・建物用途・室用途

- ・ 図 1-1-2 「様式 1 (共通条件)『室仕様入力シート』の様式」で入力した室の中から、当該昇降機が主にサービスを提供する室(昇降機を利用する人の主たる居室)を入力する。主にサービスを提供する室が複数あり、それらの室の用途が異なる場合は、床面積の合計が最も大きい室用途に属する代表室を主にサービスを提供する室とする。
- ・ 入力では、大文字、小文字、スペース等すべてが図 1-1-2 「様式 1 (共通条件)『室仕様入力シート』の様式」の情報と同一でなければならない。ただし、室の並び順は異なっても良い。
- ・ ここで入力した室の用途により、昇降機の運転時間が定まる。(室の照明点灯時間が昇降機の運転時間となる)。

②：機器名称

- ・ 設計図の仕様書に記載されている昇降機の記号や種類(常用、非常用、人荷用等)を文字列で入力する。
- ・ 計算には使用されないが、審査時に図面と照合する際に必要な情報であるため必ず入力すること。

- ③：台数
 - ・各昇降機の設置台数を数値で入力する。
- ④：積載量
 - ・昇降機の仕様書より、積載量を数値で入力する。単位は kg/ 台である。
- ⑤：速度
 - ・昇降機の仕様書より、速度を数値で入力する。単位は m/ 分である。
- ⑥：輸送能力係数
 - ・昇降機の輸送能力係数を数値で入力する。計算方法の詳細は「第 2 編 Chapter 6 昇降機の入力 1. 輸送能力係数の算出方法」を参照すること。
 - ・主たる建物用途が事務所等、ホテル等の場合において、昇降機の台数が 2 台以下の場合、もしくはバックヤードに設置される場合は、輸送能力係数は 1 とすることができるものとする。
 - ・主たる建物用途が事務所等、ホテル等以外の場合は、輸送能力係数は台数に係らず 1 とすることができるものとする。
 - ・事務所、ホテルにおいて、計画輸送能力が標準輸送能力を超えるときにおいて、(計画台数 - 1) の台数で標準輸送能力を下回る場合は、輸送能力係数は 1 とすることができるものとする。
- ⑦：速度制御方式
 - ・表 1-6-1 「速度制御方式の種類」の選択肢から選択し、文字列で入力する。
 - ・「VVVF (電力回生あり、ギアレス)」等の「(、)」は半角文字とし、「、」は全角文字とする。

表 1-6-1 速度制御方式の種類

選択肢	適用	係数
VVVF (電力回生あり、ギアレス)	可変電圧可変周波数制御方式 (電力回生ありかつギアレス巻上機)	1/50
VVVF (電力回生あり)	可変電圧可変周波数制御方式 (電力回生あり)	1/45
VVVF (電力回生なし、ギアレス)	可変電圧可変周波数制御方式 (電力回生なしかつギアレス巻上機)	1/45
VVVF (電力回生なし)	可変電圧可変周波数制御方式 (電力回生なし)	1/40
交流帰還制御	交流帰還制御方式 (注) ワードレオナード式、静止レオナード方式 (サイリスタレオナード方式)、交流二段方式が採用されている場合も「交流帰還制御方式」と選択する。	1/20